

第六次宮崎市総合計画基本構想（素案）に対する地域協議会からの意見等

令和 6 年 5 月総合政策部企画政策課

1 概要

(1) 説明事項

第六次宮崎市総合計画における基本構想（素案）の策定について

(2) 結果

意見有無	地域数（委員数・意見等の件数）
意見あり	10 地域（19 名・22 件）
意見なし	12 地域

通番	地域自治区	日程	意見等（人数・件数）
1	中央東	3月7日（木）	あり（1名・1件）
2	中央西	3月21日（木）	-
3	小戸	3月21日（木）	あり（1名・1件）
4	大宮	3月26日（火）	-
5	東大宮	3月12日（火）	-
6	大淀	3月19日（火）	-
7	大塚	4月23日（火）	-
8	檜	3月27日（水）	-
9	大塚台	3月12日（火）	あり（2名・3件）
10	生目台	2月22日（木）	-
11	小松台	2月29日（木）	あり（3名・3件）

通番	地域自治区	日程	意見等（人数・件数）
12	赤江	3月14日（木）	-
13	本郷	2月27日（火）	-
14	木花	2月22日（木）	あり（1名・1件）
15	青島	2月29日（木）	-
16	住吉	3月7日（木）	あり（2名・2件）
17	生目	3月21日（木）	あり（2名・2件）
18	北	3月12日（火）	-
19	佐土原	3月27日（水）	あり（1名・1件）
20	田野	3月21日（木）	あり（2名・3件）
21	高岡	2月29日（木）	あり（4名・5件）
22	清武	3月13日（水）	-

2 意見・質疑等

地域協議会別意見一覧

地域協議会	中央東
意見・質疑等	<p>①五次総の評価と六次総の策定方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> 第五次宮崎市総合計画については、どのように捉え評価し、第六次総の計画を策定していくのか。（山田委員・中部地区自治公民館連絡協議会） <p><企画政策課回答></p> <p>→ 毎年、施策評価として、外部会議において前年度の各施策の実績を評価していただいている。計画全体としては、五次総も、審議会や専門部会における議論を踏まえ、また地域協議会への説明やパブコメ、市議会の議決を経て策定した計画であり、当時は最適な計画であったと認識しているが、計画期間中に新型コロナやデジタル技術の進展等の社会情勢の変化が生じたこと、また、目標値を大幅に超える実績を出している施策がある一方、自治会加入率などは減少傾向が続いており、さらに毎年実施している市民意識調査の結果では、重点項目毎の市民満足度は全体的に低下していることから、時代の変化とともに、抜本的な見直しが必要となった計画であると捉えている。それらの状況や見直すべき事項を踏まえ、次の六次総の策定にあたっているところ。</p>
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

<p>地域協議会</p>	<p>小戸</p>
<p>意見・質疑等</p>	<p>①移住施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少と言われるが、<u>人を増やすには移住しかない</u>と考えている。都城市がふるさと納税を頑張り、移住施策にも力を入れ、<u>移住者獲得の実績をあげているようだ。宮崎市もそのあたりの施策を頑張らないと生き残れない</u>と思うが、いかがか。（野田委員・小戸地区自治会連合会） <p><企画政策課回答></p> <p>→ 基本構想は大きな理念を示すもので、具体的な取組等については基本計画の中でお示ししたいと考えている。基本計画を策定する中で、庁内外で協議していきたい。</p> <p>なお、若者とのワークショップにおいて、多くの意見は、新幹線や遊ぶ場、働く場など、主に観光商工に関連するものであった。その一方で、多様な価値観が認められ、まちの中に居場所と活躍できる場が欲しいなど、まちの寛容性についても意見をいただいているところである。</p> <p>経済都市としてだけでなく、寛容性を有するまちを目指し、多くの若者から選ばれる宮崎市とすることを念頭に、今後、基本計画の策定にあたっていきたい。</p>
<p>今後の対応</p>	<p>-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）</p>

第六次宮崎市総合計画基本構想（素案）に対する地域協議会からの意見等

令和 6 年 5 月総合政策部企画政策課

地域協議会	大塚台
意見・質疑等	<p>①地将来推計人口について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地区の将来推計人口は、地域毎の推計となっているのか。（高須委員・大塚台地区民生委員・児童委員協議会）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 宮崎市一律の条件で推計しており、各地域別の転出入等の特徴を加味していない。市全域については、子ども女性比、移動率、生存率等のデータが入手可能であるため、それらをもとに推計を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>年少人口は、年々減少する見込みとなっている。少子化対策等は全く期待できないということか。（高須委員・大塚台地区民生委員・児童委員協議会）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 地区の将来推計人口は、2013 年から 2023 年までの過去の実績をもとに推計を出している。少子化対策や人口減少対策が結婚や出産を希望する方の後押しや人口流出の抑制を経て、合計特殊出生率の向上等に繋がれば、人口減少のスピードや各年代の構成比の変化は、緩やかなものとなると考えられる。</p> <p>②子育てしやすい環境づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>娘が関東在住だが、里帰り出産した。親と同居してくれればと期待したが、娘からは、不妊治療の問題、車がないと移動が不便ということから、宮崎は生みづらくて、育てにくいという話があった。高齢者の方々への対策もあるが、千葉・流山市、大分・豊後高田市のように、子ども達を増やすための施策に期待している。（山本委員・宮崎市消防団大淀分団第 7 部）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 今後、具体的な方策を定める基本計画を策定していくが、この中で、子どもを産み育てやすい都市の実現のため、出会いから育てまでの切れ目のない支援、また子育てしやすい環境づくりという視点から庁内外で協議・検討していきたい。</p>
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

第六次宮崎市総合計画基本構想（素案）に対する地域協議会からの意見等

令和 6 年 5 月総合政策部企画政策課

地域協議会	大塚台（続き）
意見・質疑等	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>民生委員として見守りマップを作成する中で、およそ3分の1が独居となっている。しかしながら、独居の方々に意向を聞くと、同居の意向はないとのことであった。同居することで経済的、子育ての負担軽減が図られると考えられる。その誘導を市にはお願いしたい。（高須委員・大塚台地区民生委員・児童委員協議会）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 委員からその様なお話があったことは共有したい。</p> <p>③首都圏との賃金格差について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>娘が関東で看護師をしているが、関東と宮崎で給与が30万円ほど異なるようだ。そこを考えると無理をして同居を進めることはできないと感じた。（山本委員・宮崎市消防団大淀分団第7部）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 若者のワークショップでは、働く場や観光、都市魅力に関するご意見をいただいた一方、ワークライフバランスの充実や多様な価値観の尊重など、寛容性のある都市に関する意見をいただいた。目指すまちの姿の経済の姿において経済成長を実現するとともに、ひとの姿において多様な価値観が尊重され、誰もが活躍できる社会など、誰一人取り残さない社会の実現を目指していきたい。</p>
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

地域協議会	小松台
意見・質疑等	<p data-bbox="398 300 719 331">①将来推計人口について</p> <ul data-bbox="465 352 2175 432" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="465 352 2175 432">・ <u>第 1 章の人口推計について、現状のまま推移した場合の推計を示されていると思うが、仮に何らかの対策を打った場合、減少率がいくらか改善するといった想定推計なども示さないのか。</u>（伊藤会長・小松台地区自治会連合会） <p data-bbox="483 453 730 485"><企画政策課回答></p> <p data-bbox="510 505 2175 740">→ 現在の第五次宮崎市総合計画では、国と同様に、人口が維持できるとされる合計特殊出生率 2.07 を基準にした人口推計を行っている。しかしながら、現実と乖離があることから、第六次総合計画においては、現実的な国立社会保障・人口研究所の推計をもとに作成しており、お尋ねのような推計の作成は予定していないところ。人口減少を防ぎたい一方で、現実を受け止めながら、人口をどのように維持していくのかという点に主眼を置いた、現実的な計画を作成しなければならないと考えている。</p> <ul data-bbox="483 810 2175 948" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="483 810 2175 948">・ <u>一つの例として、都城市は移住者に補助金を出して、若者世代を呼び込んでいる。色々な案があると思うが、宮崎市がどのような取組を考えていて、それを実行することにより、人口減少がどれくらい緩やかになっていくというようなものが示されると、我々としても提案されている議案について、納得ができるので検討いただきたい。</u>（伊藤会長・小松台地区自治会連合会） <p data-bbox="483 963 730 995"><企画政策課回答></p> <p data-bbox="510 1016 2175 1153">→ 人口の動きとして、社会増減と自然増減があるが、本市は社会増が 400 人程いる一方で、自然減が 1700 人ほどとなっている。社会増を増やしても自然減に追いつかないという現状がある中、委員のおっしゃった移住の政策など、打ち出せるものは積極的に打ち出したいと考えており、全庁的に検討を進めているところ。</p>
今後の対応	- （ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

<p>地域協議会</p>	<p>小松台（続き）</p>
<p>意見・質疑等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>将来の人口推計について、宮崎市内の産業構造を今後どのようにしていくのか。就労人口が減少する中、例えば、海外からの移住・労働者など、移民も含めた形で外国人労働者の受入態勢がとれるのか、共生に向けてどのような社会を見据えて動くのかといった具体的なビジョンが無い</u>ため、<u>人口が減少する、産業が衰退する</u>といった説明だけでは、<u>目指すものがはっきりとしないので、要点が掴めない。</u>（野村委員・生目地区民生委員児童委員協議会） <p><企画政策課回答></p> <p>→ ご意見いただいた内容は、基本計画の細かな部分で検討をしなければならないと考えている。本市は圧倒的に第3次産業が多い状況にあるが、例えば、第2次産業でも付加価値を高める取組を行い、市全体として稼ぐ仕組みを考える必要があると考えている。</p> <p>その中で、外国人労働者の受入環境の整備は重要なポイントであると考えているため、観光商工部門で力を入れて取り組んでいきたい。また、外国人の移住者も2023年では過去最高の2,600人程増えている状況にあり、コロナ禍で一時減少したものの、2012年から右肩上がりの状況が続いている。ベトナム・中国からの移住が多くなっているところであるが、引き続き、受入環境の整備に取り組んでいきたい。</p> <p>②将来の都市像と目指すまちの姿について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>第2章「将来の都市像と目指すまちの姿」はこれから具体的に決めるのか。</u>（芝崎委員・小松台地区自治会連合会） <p><企画政策課回答></p> <p>→ 今後、基本構想にぶら下がる基本計画について、庁内の各部局と細かく作りこむ予定であるが、ご意見をいただいた内容についても、十分に考慮しながら進めていきたい。</p>
<p>今後の対応</p>	<p>-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）</p>

地域協議会	小松台（続き）
意見・質疑等	<p>③財政運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、<u>生産年齢人口が減ることで市の歳入が減る一方で、高齢者人口が増えることにより歳出は増えていく中、具体的な案を出さないといけない。市庁舎の建て替えもあり、今後、市の財政が苦しくなる中で、市には頑張ってもらいたい。</u>（柴崎委員・小松台地区自治会連合会）
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

第六次宮崎市総合計画基本構想（素案）に対する地域協議会からの意見等

令和 6 年 5 月総合政策部企画政策課

地域協議会	木花
意見・質疑等	<p data-bbox="398 300 896 331">①年齢区分別の将来推計人口について</p> <ul data-bbox="459 352 2175 485" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="459 352 2175 485">・ 「高齢者」の取り方については、時代的に変わってきている。65 歳以上を高齢者と考えると、あまり展望が明るくないのではないか。働いている方もいらっしゃる。高齢者をいかに上手く使うかで広い考え方ができるのではないか。（大神会長・木花地区社会福祉協議会） <p data-bbox="459 507 705 539"><企画政策課回答></p> <p data-bbox="481 560 2175 692">→ 今回の計画は、人口減少と少子高齢をテーマに掲げて、そこから起こりうる未来を想像し、必要な施策は何かというところからスタートした。具体的な施策を掲載する基本計画のほうでは、働く希望を持つ高齢者が働ける環境を整えるということも加味しながら策定して参りたい。</p> <p data-bbox="510 713 2175 844">なお、65 歳以上を高齢者と一括りにすることについては、庁内でも議論があり、今回、年齢階級を年少、生産年齢、高齢者の 3 区分から、高齢者を 65 歳以上から 74 歳以下と、75 歳以上に分けた。65 歳以上でも元気で社会で活躍する方もたくさんいる。今後基本計画策定の際はご指摘の点に配慮し策定に当たりたい。</p> <ul data-bbox="459 914 1921 946" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="459 914 1921 946">・ 是非、若い世代が夢を持てるような計画にしていただければと思う。（大神会長・木花地区社会福祉協議会）
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

第六次宮崎市総合計画基本構想（素案）に対する地域協議会からの意見等

令和 6 年 5 月総合政策部企画政策課

<p>地域協議会 意見・質疑等</p>	<p>住吉</p> <p>①地域別の将来推計人口について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>国の推計はコーホート要因法で算出したものだが、この地域別の将来推計人口はコーホート要因法が使えない、要件が揃っていないということか。住吉地域の人口が他と比較しやや増えていることから、ここまで減るのかと淡い期待を抱いている。（赤池委員・住吉地区自主防災連合隊）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 市全域の将来推計人口は国勢調査を基にしたコーホート要因法にて推計している。地域別の人口については、各歳別が公表されていないこともあり、住民基本台帳のデータを基に市全域の人口動態を傾向を当てはめて推計している。</p> <p>②人口減少社会における福祉分野をはじめとする行政と地域との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>福祉に携わる立場として、将来推計人口はよく目にする資料だが、生産年齢人口のピークは 2015 年だったと記憶している。それからずっと下がり続けている。一方で高齢者人口は増加傾向ということで、介護保険制度も 3 年に 1 度見直しがなされているが、来年度の見直しのタイミングで、介護保険料もまた上げざるを得ない状況になっているようである。住吉地区では 54 自治会がある中で、15 団体が高齢者のサロンなどを開催し高齢者が閉じこもらないように居場所を提供している。あとは、包括支援センターの生活支援コーディネーターとともに頑張っている。人口の推移をみると、<u>今後、2045 年、2050 年となったときに、地域がどうなっていくのかという不安が募っている。行政と地域と共に、そのようなことが起きることを意識しながら、しっかりと取り組まないといけないと感じた。（飯干会長・住吉地区社会福祉協議会）</u></u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 基本構想上では、「ひとの目指す姿」として「誰一人取り残さない社会」を目指すことを明記している。行政と地域が連携しながら取り組んでいけるような計画としたい。</p>
<p>今後の対応</p>	<p>-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）</p>

第六次宮崎市総合計画基本構想（素案）に対する地域協議会からの意見等

令和 6 年 5 月総合政策部企画政策課

地域協議会	生目
意見・質疑等	<p>①パブリックコメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>パブコメはいつを予定しているのか。パブコメで大体どれくらい意見が集まると思うか。（中原委員・生目地区自治会連合会）</u> <企画政策課回答> → 4月3日頃から1か月程度を予定している。どれくらいの意見が寄せられるのか想像がつかないところ。 ・ <u>若い方が意見を出してくれるといいと思う一方、将来推計人口の数字を見るだけだと、なかなか前向きに捉えるのは難しいと思う。（中原委員・生目地区自治会連合会）</u> <p>②総合計画と地域まちづくりのあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>この計画は庁内で協議し策定しているのか。将来推計人口の「市民生活への影響」では、地域活動の担い手不足や地域の防災力の低下といったものが記載されているが、地域まちづくり事業はあれをやってほしい、これをやってほしいとどんどん下りてきている。この計画策定と矛盾しているのではないかという気がする。（長友委員・生目地区振興会）</u> （生目地域センター回答） → この総合計画策定と並行して、地域協議会の廃止に伴う今後のまちづくりの議論についても進めているところ。総合計画では、推計から将来見込まれる課題を盛り込んでいる。令和6年度が4月から始まるが、地域のまちづくりについては、1年かけていろいろな問題点や、今後どうなっていくのかについて十分議論しながら、不明点があれば、地域センターにお尋ねいただき、まちづくり推進室に確認をとって、皆さまに回答していきたい。いろいろな意見を出していただき、また回答させていただきクリアにしていこうと考えているので、どうぞよろしくお願いしたい。
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

地域協議会	佐土原
意見・質疑等	<p>①総合計画策定における市民参画について</p> <ul style="list-style-type: none">「目指す姿」などいろいろあり、それに対する考え方も出ているが、地域協議会委員の皆さんが見て分からないところ、足りないところなど、気づいたことがあれば、また企画政策課に電話でもしていただければいいと思う。パブリックコメントでも市民の意見を取り上げてもらえるということになるが、<u>行政の皆さんばかりが考えるのではなく、みんなで考えた宮崎市、将来の宮崎市ということで、取り組んでいかなければならないこともかなりある</u>と思う。（総合計画について）興味、関心を持っていただけたらと思う。（根井会長・佐土原地区自治会連合会）
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

地域協議会	田野
意見・質疑等	<p>①将来推計人口について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化問題について、将来の推計人口には出生数の減少等の要因は加味されているのか。（黒木会長・宮崎中央農業協同組合田野支店） <p><企画政策課回答></p> <ul style="list-style-type: none"> → 国立社会保障・人口問題研究所において、様々な人口変動要因を加味して、将来の人口を推計している。 <p>②産婦人科との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンシティみやざきの中で、人口減少・少子高齢化に起因する様々な課題の解決に向けて、現在、<u>産婦人科が不足しているが、産婦人科との取組も考えているのか。</u>（黒木会長・宮崎中央農業協同組合田野支店） <p><企画政策課回答></p> <ul style="list-style-type: none"> → 産婦人科との取組については、今後、基本計画を策定していく中で、担当となる健康管理部と十分に協議を行いながら、検討を進めていきたい。 <p>③自治会加入率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>自治会加入率が 50%を切っていると思うが、今後 10 年間の計画の中でどのように推移していくと見込んでいるのか。</u>（川上委員・公募） <p><企画政策課回答></p> <ul style="list-style-type: none"> → 計画を策定する過程の中で、有識者で構成される専門部会でも同様の議論があった。自治会の加入率が低く、経年で減少していることは課題として捉えている。一方で、子ども食堂など、地縁型によらない特定のテーマでの新たなコミュニティも生まれていることから、地域のまちづくりのあり方について、議論を深めていかなければならないと認識している。誰もが暮らしやすい環境という大きなテーマについて、基本計画を策定する過程で庁内で議論を行っていきたい。
今後の対応	<p>-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）</p>

第六次宮崎市総合計画基本構想（素案）に対する地域協議会からの意見等

令和6年5月総合政策部企画政策課

地域協議会	高岡
意見・質疑等	<p>①人口減少を見据えた集落形成について</p> <ul style="list-style-type: none"> 高岡の人口推計には驚いた。2060年に約6,600人まで減少する中、集落を維持していくには、市が土地を購入して、そこに高齢者住宅を建てて人を住ませる形で、今から人口減少を見据えた集落を形成していく必要があるのではないか。（岩切委員・公募） <p><企画政策課回答></p> <p>→ 基本構想の中でも、持続可能なまちづくりや誰もが住みやすい定住環境づくりについて記載している。今後、基本計画の策定の中で、具体的な部分を各部局と検討していきたい。</p> <p>②高齢者の移動手段について</p> <ul style="list-style-type: none"> 山間部に住む人の中には、高齢になったときには移動手段がないため、病院や買い物等に行くといったことが難しく、自宅に孤立するかもしれないという話を聞くことがある（山元委員・高岡地区青少年育成協議会）。 <p>③産業の担い手不足について</p> <ul style="list-style-type: none"> 人手不足について、現在、農業分野等でも外国人を雇って人手を確保している。将来的には、業種を問わずそういったことも必要になると考えているのか。（前田委員・高岡地区自治公民館連絡協議会） <p><企画政策課回答></p> <p>→ 外国人の方も、人手不足を解消する貴重な人材になりうると考えているため、基本構想の中にもその旨盛り込む方向で検討している。</p>
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

第六次宮崎市総合計画基本構想（素案）に対する地域協議会からの意見等

令和 6 年 5 月総合政策部企画政策課

地域協議会	高岡（続き）
意見・質疑等	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>産業別従事者数の将来推計データはあるのか。（新田委員・公募）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 産業別の生産額の推移やその割合のデータはあるが、将来推計従事者数というものはない。</p> <p>④外国人の受入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>外国人を受け入れるにあたって、治安や文化の違いを埋めるために必要な取組等は検討しているのか。（新田委員・公募）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 基本構想には大きなくくりで記載しているが、外国人居住者が地域住民の方と多文化共生をしていくための取組については、今後基本計画において検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>外国人住民の受入については、どこか特定の地域や国をターゲットにしているのか。その場合の具体的な動きはあるのか。（岩切委員・公募）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 特定の国をターゲットにした受入に向けた取組については、今のところない。今後、外国人居住者の支援体制の強化を図る中で、検討していきたい。</p>
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）

地域協議会	高岡（続き）
意見・質疑等	<p>⑤産業別市内総生産額について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>農業に携わっているのだが、第一次産業の生産額は減っているのか、サービス業は増えているのか。（新田委員・公募）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ やや古いデータとなるが、第一次産業は、2011 年の 220 億円から 2019 年は 170 億円に減少している。第二次産業は 1,470 億円から 1,620 億円に増加、第三次産業は 1 兆 590 億円から 1 兆 1,950 億円に増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>宮崎は農業王国であると思うが、今後はそのキャラクターを変えていくのか。（新田委員・公募）</u> <p><企画政策課回答></p> <p>→ 生産額ベースで見ると、第二、第三次産業と比較すると低くなっているが、全従業者のうち農業関係者が占める割合としては、他の中核市と比較すると非常に高くなっている。そういった意味で、宮崎市の特色として農業というものがあり、それはこれからも変わらないと考えており、今後は後継者不足への対応や生産性向上を支援していく必要があると認識している。</p>
今後の対応	-（ご意見を踏まえて策定に当たっていく。）